



# 未来をつくる ソーシャルイノベーション 第2部

文・西村勇哉

暮らしの中から見つける変化の力

CASE:

## 54 地図 — 生まれる認識の広がりと世界の拡張 —



2018年に欧州宇宙機構が公開した天の川銀河の宇宙地図。描かれる17億個の星々のうち13億個は正確な動きも把握されている。  
©ESA/Gaia/DPAC,CC BY-SA 3.0 IGO

POINT!

世界地図は時代と共に変化し、世界の認識は常  
に変わり続け、新たな挑戦を生み出し続けてきた。



右/現存する最古の世界地図。B.C.600年頃に制作された。円の内側が陸地、外側が海を表している。  
出展：Wikimedia Commons

左/現存する最古の地球儀であるペハイムの地球儀。

©Alexander Franke (Ossiostborn) [CC BY-SA 2.0 de (https://creativecommons.org/licenses/by-sa/2.0/de/deed.en)]



今回は、地図の歴史と共に移り変わっていった世界の変遷について見ていきます。

現存する世界最古の世界地図は、B.C.600年頃に作られたバビロニアの世界地図です。ここに描かれている地図は、バビロンとその周辺の地理に関する限られたもので、その外は想像によって補われていました。

その後、世界地図は時代を追うごとに徐々に正確さを増していきます。B.C.5世紀に描かれたヘロドトスの地図では地中海周辺の精度が高まり、A.D.150年頃に描かれたプトレマイオスの地図ではインドのセイロン島が描かれるなど、描き手やその周囲の訪れた地域の広がりによって地図の範囲が広がっていきました。

ところが、6世紀に入るとキリスト教的世界の浸透によって世界地図の精度は著しく低下します。例えば、B.C.3世紀にギリシャのエラトステネスは、世界が球体であるという前提を持って地図を制作していたにもかかわらず、6世紀以降のヨーロッパの地図では地球が平面であるという考えに基づいた地図が作成されます。

現存する最古の地球儀は、1492年にマルティン・ベハイムによって制作されました。同時期に、クリストファー・コロンブスは世界が球体であるという仮説に基づいてアメリカ大陸発見への探検事業に取り組みます。一方

今後は、地図の歴史と共に移り変わっていった世界の変遷について見ていきます。

現存する世界最古の世界地図は、B.C.600年頃に作られたバビロニアの世界地図です。ここに描かれている地図は、バビロンとその周辺の地理に関する限られたもので、その外は想像によって補われていました。

その後、世界地図は時代を追うごとに徐々に正確さを増していきます。B.C.5世紀に描かれたヘロドトスの地図では地中海周辺の精度が高まり、A.D.150年頃に描かれたプトレマイオスの地図ではインドのセイロン島が描かれるなど、描き手やその周囲の訪れた地域の広がりによって地図の範囲が広がっていきました。

ところが、6世紀に入るとキリスト教的世界の浸透によって世界地図の精度は著しく低下します。例えば、B.C.3世紀にギリシャのエラトステネスは、世界が球体であるという前提を持って地図を制作していたにもかかわらず、6世紀以降のヨーロッパの地図では地球が平面であるという考えに基づいた地図が作成されます。

現存する最古の地球儀は、1492年にマルティン・ベハイムによって制作されました。同時期に、クリストファー・コロンブスは世界が球体であるという仮説に基づいてアメリカ大陸発見への探検事業に取り組みます。一方



にしむら・ゆうや ● NPO法人ミラツク代表理事。  
大阪大学大学院にて人間科学の修士を取得。  
人材育成企業、財団法人日本生産性本部を経て、2008年より開始したダイアログBARの活動を前身に2011年にNPO法人ミラツクを設立。  
Emerging Future, we already have(すでに在る未来の可能性を実現する)をテーマに、全国横断型のセクターを超えたソーシャルイノベーションプラットフォームの構築と未来潮流に基づいた新規事業創出のためのプロジェクト運営に取り組む。  
<http://emerging-future.org>

で、アメリカ大陸にヨーロッパ人が渡るようになった後も、しばらくアメリカ大陸はアジアの一部として世界地図に描かれていました。アメリカ大陸は、アメリカゴ・ヴェスプッチが1503年に発表した論文において、初めてアジアとは異なる大陸であることが主張され、その後、実際の探検を経て、アジアと異なる大陸であることが確認されました。1507年にマルティン・ヴァルトゼーミュラーによって描かれた地図にはアジアと切り離されたアメリカ大陸が置かれています。

世界地図は、世界に対する認識として描かれ、拡張と整備を繰り返してきました。同時に、市民の世界に対する認識は、世界地図が新たに描き変わる度に変化してきました。2018年に欧州宇宙機関が公開した宇宙地図には天の川銀河の17億個の星が3Dマップとして記載されています。世界は世界地図と共に常に拡張され、新たな認識と挑戦を生み出し続けてきました。